

平成22年8月12日
三井生命保険株式会社

平成22年度第1四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 山本 幸央）の平成22年度第1四半期報告（平成22年4月1日～平成22年6月30日）の概況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細は、本日付ニュースリリース「平成22年度第1四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

- ◇ 新契約年換算保険料は、総合保障型商品等の販売増加により、前年同期比**6.2%増**の**78億円**となりました。また、医療保障重視型保険等の販売増加に伴い、医療保障・生前給付保障等の第三分野の新契約年換算保険料も前年同期比**7.2%増**の**38億円**となりました。
- ◇ 保有契約年換算保険料は、医療保障・生前給付保障等の第三分野が前年度末比**0.7%増**の**1,221億円**となりましたが、全体としては、解約や満期等の減少を新契約でカバーできず、前年度末比**0.8%減**の**5,673億円**となりました。

【損益の状況】

- ◇ 保険料等収入は、個人保険の保有契約高の減少に伴い平準払保険料が減少したものの、一時払終身保険の販売が増加したこと等により、前年同期比**2.5%増**の**1,597億円**となりました。
- ◇ 基礎利益は、変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金が**159億円**繰入となったこと、及び個人保険の保有契約高が減少したこと等により、前年同期から**381億円減**の**▲157億円**となりましたが、キャピタル損益が前年同期から**336億円増**の**240億円**となったこと等により、**経常利益は95億円**、**四半期純利益は57億円**となりました。

【主要指標の状況】

- ◇ 有価証券全体の含み損益は、前年度末から**653億円改善**の**1,410億円**となりました。
- ◇ ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券の含み損益が前年度末から改善したことを主因として、前年度末から**8.4ポイント上昇**して**710.5%**となりました。また、**実質純資産額**についても、有価証券の含み損益の改善に伴い、前年度末比**17.6%増**の**4,576億円**となりました。

1. 契約の状況

(1) 年換算保険料〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期末		平成21年度末
		前年度末比 増 減 率	
保有契約年換算保険料	5,673	▲ 0.8	5,722
うち医療保障・生前給付保障等	1,221	+ 0.7	1,212

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期	平成22年度 第1四半期	
			前年同期比 増 減 率
新契約年換算保険料	74	78	+ 6.2
うち医療保障・生前給付保障等	35	38	+ 7.2

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
 2. 医療保障・生前給付保障等については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。
 3. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期	平成22年度 第1四半期	
			前年同期比 増 減 率
解約・失効年換算保険料	88	77	▲ 12.7
解約・失効率〔年換算保険料ベース〕	1.54	1.43	▲ 0.12ポイント

- (注) 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

(2) 保有契約高

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期末		平成21年度末
		前年度末比 増 減 率	
個人保険+個人年金保険	315,601	▲ 2.4	323,384
団体保険	143,653	▲ 0.0	143,686
団体年金保険	11,658	▲ 1.3	11,805

- (注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。
 2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

(3) 新契約高、解約・失効高(率)〔個人保険+個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期	平成22年度 第1四半期	
			前年同期比 増 減 率
新契約高	2,214	732	▲ 66.9
解約・失効高	5,989	5,129	▲ 14.4
解約・失効率	1.69	1.60	▲ 0.09ポイント

- (注) 1. 新契約高は、新契約+転換純増の数値を表示しています。
 2. 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

2. 損益の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成21年度 第1四半期	平成22年度 第1四半期	前年同期比
			増 減 率
基礎利益(▲は損失)	224	▲ 157	-
基礎収益	2,431	2,252	▲ 7.3
保険料等収入	1,558	1,597	+ 2.5
基礎費用	2,206	2,409	+ 9.2
事業費	287	274	▲ 4.3
キャピタル損益	▲ 96	240	-
臨時損益	▲ 24	12	-
経常利益	103	95	▲ 7.9
特別利益	1	4	+ 177.5
特別損失	6	11	+ 70.6
契約者配当準備金繰入額	36	37	+ 4.7
四半期純利益	75	57	▲ 24.0

(注) 変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金の繰入・戻入額は、平成21年度第1四半期は185億円の戻入、平成22年度第1四半期は159億円の繰入となっています。損益計算書上、責任準備金の戻入・繰入はネットで計上されます。

3. 主要指標の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第1四半期末	前年度末比	平成21年度末
		増 減 率	
ソルベンシー・マージン比率	710.5	+ 8.4 ^{ポイント}	702.1
実質純資産額	4,576	+ 17.6	3,892
有価証券の含み損益(一般勘定)	1,410	+ 86.4	756
総資産	74,774	▲ 0.3	74,988

以上